

きそがわ福祉会だより

地域の中でともに育つ事業所めざして

2018年11月15日発行 No.106



第二きそがわ作業所では、焼き立てパンを作って色々な施設へ販売を行っています。

月に一度、作業所での販売もありますので是非一度お試し下さい。

お問い合わせ：第二きそがわ作業所 0586(84)1102

発行：社会福祉法人きそがわ福祉会

〒493-0006 愛知県一宮市木曾川町内割田一の通り12番地3

電話 0586-86-3960 FAX 0586-86-3937

～ 障害者権利条約を地域のすみずみに～

障害者虐待防止の取り組みについて

9月9日(日)に尾西生涯学習センターで開催された障害者虐待防止講演会(講師は松上利男氏)には130名以上の方が参加されていました。後半ではグループワークもあり、充実した学習交流の場となりました。



▲写真は一宮市障害者自立支援協議会ブログ「障害者虐待防止講演会で他機関と意見交流」より

障害者虐待防止法の制定の動き

平成18年に、国連で障害者権利条約が採択され、その後、日本の国において障害者権利条約に恥じない制度づくりを・・・という運動や機運が高まる中、障害者自立支援法の応益負担制度の廃止を求める全国規模の運動の広まりや、国内法の改正や整備等が進んできました。その動きの一つで、平成23年6月に「障害者虐待防止法」が国会で成立し、翌年10月から施行されました。

一宮市障害者虐待防止センター主催の研修会に参加

私たちは、この法律を学び、障害のある人の権利が守られ虐待の無い地域社会の実現をめざしていく活動を大切にしなければならぬと思っております。その一環で、去る9月9日に行われた一宮市障害者虐待防止セ

ンター主催の「障害者虐待防止講演会」支援の質の向上を目指して(講師は社会福祉法人北摂杉の子会理事長 松上利男氏)に、当法人から13名が参加しました。

この研修会に参加した職員から、後に伝達学習交流の場を設定し、皆が日々の職務に活かしていく取り組みを進めています。参加職員の感想等について、左記に紹介致します。

【感想より】

障害者虐待防止法の基本的考え方のおさらいと、実際に現場で生じがちな虐待事案の解決方法(障害のある人の一人一人に合理的配慮が出来るのか?)、さらに事案を活かして人材育成につなげていくプロセスがとても貴重な学習となり印象的でした。

障害のある人の一人一人の表面上見えている個性だけでなく、隠れている個性についても推測し支援を進めていきたいと思っております。(F・M)

障害者虐待防止法の問題点

～通報義務の対象に学校、病院及び官公署等が含まれていない～

現行の障害者虐待防止法において、学校、病院及び官公署等が通報義務の対象に含まれていないことが、施行後の最大の問題点として障害関係団体等から指摘され、法改正の要望も出されています。今、また「マスコミや新聞紙上でも話題になっている養護学校(特別支援学校)の案件からも、この部分の早期改正が必要であると思えます。

障害者雇用の取り組み

きそがわ福祉会では

現在、「障害者雇用促進法」に基づき、障害者法定雇用率を達成し、一人一人の職員が共に法人を支える大切な一員として日々活躍をしています。しかし、平成28年度は、法定雇用率が未達成であったため、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構に80万円強の納付金を支払いました。その後、法律を遵守して障害者雇用について具体化を進めよう・・・と法人内に障害者雇用推進グループ会議を設置し、障害のある人が労働契約者として活躍する場について検討を重ね、実際に労働契約の締結を進める中、昨年度からは法定雇用率を超過達成することが出来ました。

ところが、行政の「水増し」発覚

今年8月頃に、国や自治体の一定の部署で、障害者雇用数に関する「水増し」報告が数十年に渡り行われていたことが報道されました。実際には障害のない職員を障害があるとみなしたり、新たな障害のある人を採用しない等が明るみになり大きな社会問題となり、国会でも取り上げられる事態となりました。省庁別では国税庁の水増しが最多で、制度を所管する厚生労働省も含まれていてのことです。法律を遵守することについてお手本となるべき行政において、こうしたことが無いよう切望しています。

2019年3月10日 きそがわ福祉会 40周年記念行事を行います!

きそがわ福祉会の設立の準備期間も含め、今年で40周年を迎え、来年3月10日(日)に一宮市木曾川文化会館(尾西信金ホール)にて、きそがわ福祉会40周年記念行事を行います。

この催しの「ねらい」のキーワードは、「感謝」、「障害者権利条約を地域のすみずみに」、「困難な状況にある人を大切にする」、「新拠点づくり」と位置付けています。

企画として、きそがわ福祉会各事業所が加盟する「きょうされん」結成40周年で制作された2本の映画(「忘れぬ」そして「つながる」を伝える東日本大震災を描いた劇映画「星に語りて」と、約100年前、精神障害者の状況改善のために奔走した呉秀三さんを描いたドキュメンタリー映画『夜明け前』)の上映を行います。又、きそがわ福祉会の仲間による歌のステージや、法人のこれまでの歩みを振り返るスライド等の上映も企画しています。

たくさんの方々にご来場いただければ幸いです。只今、色んな面で準備中です。実行委員会を立ち上げ、記念行事の成功に向けて始動しました。

次号のニュースでは、直前の情報もお伝えできると思っていますので、楽しみにしていてください。

京都に5,500人が集結!! 第41回きょうされん全国大会 in 京都

今年で41回目となる「きょうされん全国大会」が、9月21日・22日の両日、京都国際会館にて開催され、当法人からは仲間1名・職員10名が参加しました。

一般公開された「世界の宝物」障害者権利条約を地域のすみずみに「をテーマとした国際シンポジウムでは、国連障害者権利条約特別委員会の元議長であるドン・マッケイ氏と、国連障害者権利委員会の前委員長であるマリア・ソリダード氏を招いてのシンポジウムでした。まだまだ障害者権利条約が全国に根付いていない中で、障害者権利条約が地域のすみずみまで浸透されることを願い、たくさんの方々が市民の方が集い、聴衆しました。仲間企画では、京都ならではの着物の着付けや、「エヒカニクス」でおなじみの「ケロポンス」の楽しいステージに、全国の仲間の皆さんは大盛り上がりでした。

この大会には障害のある人や関係者が多数集い、実践や運営、運動を交流する場となっています。各種分科会が企画され、当法人からの参加者も、それぞれの分科会等で全国の人たちと学び交流する中で、日々の実践や運営や運動に活かせるものを学ぶことができたと思えます。

さて来年の全国大会は...

「きょうされん発祥の地」ここ愛知県で開催です!三重 岐阜 静岡 と共に東海ブロック一丸となって大会準備を始めています。

2019年10月25・26日

第42回きょうされん全国大会 in あいち 開催

あいち大会スローガン

「つなげよ未来へ つながるまいなかまの輪

～共同作業所はじまりの地 あいちから～」

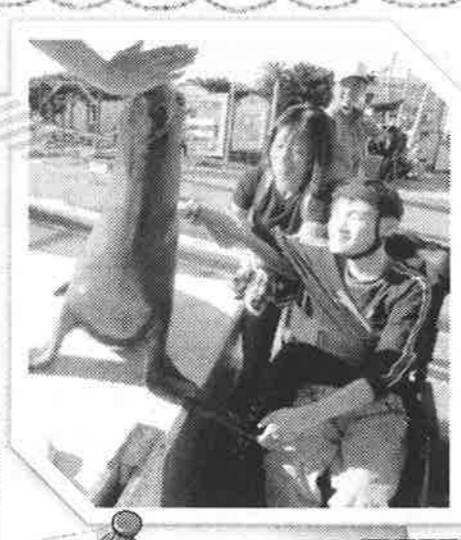
愛知の全国大会に、みんなで行こみゃー 全国からも、いっぴやー来てちよーだやー

(愛知の全国大会に、みんなで行こう 全国からも、たくさん来てくださいね)

▼閉会全大会での あいちへの引継ぎ式



▲大交流会の様子



一泊旅行 特集 2018 秋



- 🍁 きそがわ作業所
のんほいパーク・駒立ぶどう狩り
- 🍁 ゆうゆう
南知多方面
- 🍁 第二きそがわ作業所
レゴランド・すいとびあ江南
- 🍁 黒田ドリーム作業所
伊勢シーパラダイス・伊賀の里モクモクファーム
- 🍁 ふたばドリーム作業所
USJ・大阪市環境局(ごみ処理工場)
- 🍁 ディズニールランド
- 🍁 わかばドリーム作業所
レゴランド・あいち健康の森
- 🍁 北方あすなろ作業所
セントレア・竹島水族館・浜名湖バルバル

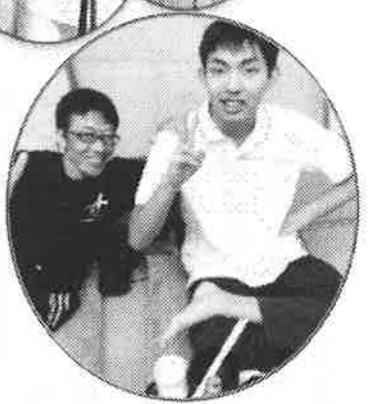
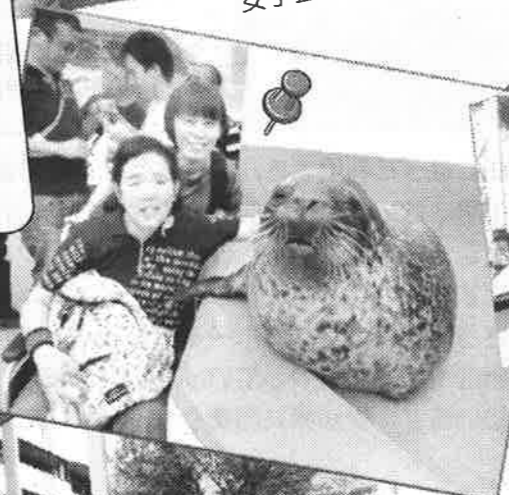
きそがわ福祉会では、毎年秋頃に、一泊旅行の取り組みを行っています。行先はそれぞれ異なりますが、旅先では日頃出来ない、色々な体験をしてきました。いつもの仲間と一緒に美味しい物を食べ、笑いあり感動ありの楽しい旅ができました。季節柄、台風の影響が心配される日程もありましたが、どの事業所も無事に旅行に行ってきました。たくさんの思い出を作ることができました。



女子会♪



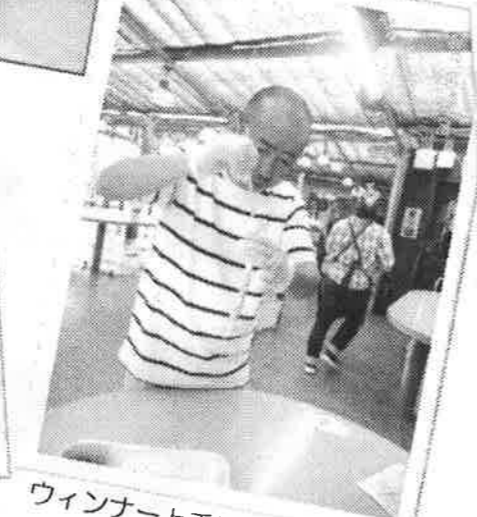
お土産もゲット♡



ぶどうが甘〜い😊



ユニバーサルスタジオ最高だよ☆



ウィナー上手に作れるかな?



大宴会の出し物も大盛り上がり!